

千代田区基本構想懇談会 第2回部会（くらしとまちづくり部会）

議事要旨

【開催概要】

- 1 開催日
令和4年9月2日（金）18時～20時00分
- 2 会場
千代田区役所4階 会議室A・B
- 3 出席状況
学識経験者1名（欠席者無し）
区民 5名中1名欠席
- 4 千代田区
古田政策経営部長
事務局： 夏目企画課長、沖田企画担当係長、岩森主任、落合主事、小野寺主事

【次第】

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告
属性別アンケート等の結果（子ども・高齢者・女性・障害等のある方）
- 4 協議
めざすべき姿について
- 5 今後の予定
- 6 閉会

【配布資料】

- ・資料1 : 属性別アンケート等の結果報告・本日の協議事項
- ・資料2 : （仮称）第4次基本構想（たたき台）
- ・別紙1 : 子ども・高齢者・女性・障害等のある方意見報告書

【議事要旨】

1 開会

2 挨拶

3 報告

(1) 属性別アンケート等の結果

◎事務局

- ・資料1に基づき、説明。

○区民

- ・4属性をピックアップした理由は何か。

◎事務局

- ・行政サービスの対象分野別の分類が必要と考えた。

○区民

- ・属性に属さない人はどうするのか。

◎事務局

- ・属性に属さない人は、第1回全体会で全体アンケートの結果において、全体の傾向として報告した。

○区民

- ・ピックアップしたものと全体と比較してどうなのか。他の情報との比較ができない。

◎事務局

- ・子どもの場合、千代田区のイメージで「教育が充実したまち」、「快適で便利なまち」などが出ているが、「治安のよいまち」については全体に比べて低い。また、「教育の充実」については、子どもは高い水準だが、全体ではさほど高い水準ではない。10年先の望む千代田区の姿については「住環境に恵まれたまち」が全体に比べて高い水準になっている。高齢者や女性の場合、両設問の上位・下位の意見はともに概ね全体と一致している。障害のある方の場合、アンケートの種類が異なるため、割愛させていただく。

○区民

- ・「平等に活躍できるまち」について水準が低いように見える。施策に活かせればもっと水準も上がってくると思う。

4 協議

○区民

- ・次の基本構想は期間を設定していないため、文章中に時間的な有限・無限が混在している。

○区民

- ・議論の仕方の話になるが、前回までの意見がたたき台に反映されていない。これでは同じ発言の繰り返しになってしまい、どのように議論すればいいかわからない。

◎事務局

- ・今回の意見を提言書としてまとめて、ヒアリング結果なども踏まえて修正作業を

行うので、まだ意見の反映については示すことができない。それまではたたき台に意見をいただくことを目的としている。部会と全体会での議論の繰り返しを行い最終的な提言書を作成する予定である。

○区民

・バージョンアップされたたたき台を見たかった。

◎事務局

・今回の意見についても全体会で共有し、提言に盛り込む予定である。

○学識経験者

・前回の議論で、めざすべき姿含め抽象的な意見はある程度出尽くしており、結論も出していた。今回同じメンバーで議論をするにあたって、前回の意見から積み上げて議論する方法もあったらう。

◎事務局

・たたき台だけではなく、区政全般や、もう少し具体的な部分に対してでも構わないので、意見をいただきたい。

○学識経験者

・分野別の将来像「やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち」については、リード文と比べて、めざすべき姿がより具体的になっているわけでもなく、位置づけが分かりにくい。

◎事務局

・リード文は、分野別の将来像をイメージしやすくするため補足するような位置づけである。それに対して、めざすべき姿は行政分野を踏まえて人々のくらしの姿を示したものになっている。

○学識経験者

・2つに分ける意図は理解できるが、結局のところ文意として同じものになっており、リード文で網羅しきれているようにも見える。

○区民

・行政分野別ではなく部署別にめざすべき姿を定める方が分かりやすいと思う。

○区民

・めざすべき姿を削除してリード文を充実させる方法や、リード文の抽象度を上げて、めざすべき姿との分けを明確にする方法もあるのではないか。

○区民

・「伝統と歴史あるまち」がアンケートでも上位であり、ニーズがあると思うので、もっと重視をし、具体的に基本構想の中に表現しても良いのではないか。

○区民

・教育について、高校や大学は充実している一方で、生涯学習ができるような環境づくりに努めてほしい。

○区民

・子どもに対するアンケートにおいて、「環境に優しいまち」の水準が低かった。これは、子どもがよく利用する公園などの自然環境が豊かではないということの示唆ではないか。良好な環境を次世代に継承する前に、まずは更なる緑化に努める必要があるのではないか。

○区民

- ・「良好な環境が次世代に継承され」の部分がリード文で読み取れないので、この枠組みで考えるのであればそれを加えるべきだと思う。

○学識経験者

- ・めざすべき姿の主語は「私たち（区民）」だと思うが、「強靱な都市基盤や災害に備えた体制が構築され、」の部分の主語は「私たち（区民）」ではなく「行政」ではないか。

○区民

- ・各パーツの粒度が整列されていないので議論が難しくなっていると感じる。

○区民

- ・第4次基本構想は無期限を前提に作っているが、中身は20年期限だった第3次基本構想とほぼ変わっていない。アンケートでは10年の後の姿について聞いており、今回の基本構想も10年を期限とするなど、対応が必要ではないか。

○区民

- ・恒久的な構想として考えるのであれば、時勢の変化に対応できるような内容にするべきである。

○学識経験者

- ・伝統を守るだけでなく、多様性を受け入れるなど、時代に合わせて変化していくことも大切である。

○区民

- ・多様性について、「LGBTs」のように概念が細分化・変化している中で、「千代田区民」として表現する方法もあるように思う。

○区民

- ・障害者などのマイノリティを重視する姿勢を示したり着目してもらうためにも、あえて「LGBTs」など具体的な言葉を使う必要があると思う。

◎事務局

- ・多様性は少数派が肩身の狭い思いをしてしまうということが1つ問題だと思うが、その要因は何だと思うか。

○区民

- ・社会的基盤や体制が用意されていないからではないかと考える。

○学識経験者

- ・マイノリティの存在は知っているが、実態が分からないということも要因の1つだといわれている。

○区民

- ・区民の声として具体的で実現性の高い話や意見をしかったが、かなり抽象度が高く議論しにくい。

○区民

- ・提供されるデータや前提がもう少し種類豊富に、揃ったかたちであれば議論がしやすいのではと感じた。また、抽象的な議論が多い中で、今回のような議論だけで「区民の声を集めた」と言われてしまうと残念である。

○区民

- ・自治体のトップランナーとして現状に満足するのもいいが、トップランナーを維持するには努力が必要だと思う。10年後、20年後もトップランナーを維持するための取り

組みなどを議論し、表現するべきではないか。

○区民

- ・トップランナーという言葉は、とても良い言葉であり、反映されていないのは良くない。トップランナーとして千代田区がどうあるべきかをアピールしても良いと思う。教育分野などにおいては、現在も特色のある取組みをしているが、全国ナンバーワンとして挑戦的・実験的・先端的な取組みを更に進めてもいいのではないか。

○区民

- ・トップランナーでいられるのは千代田区が首都であるからだと思う。もし首都が移転したら大企業などは千代田区を離れ、千代田区の財政基盤も崩れる可能性もある。千代田区は小規模な商店や企業への支援があまりないので、自治体を支える小さな商店・起業に対して支援を行う必要があると思う。また、千代田区がトップランナーであり続けるためには魅力的であり続ける必要があるだろう。

5 今後の予定

6 閉会